2023-6-2

皇居東御苑の植物：5 月半ば～6 月初旬

山本 雅晴

天気の良い日に東京に出かけるときはよく皇居東御苑を訪れる。武蔵野の雑木林や季節の植物が楽しめるからである。この時期の見どころは“さつき”と“菖蒲”である。また、木に咲く白い花々も見れる。5 月 24 日に訪れた時は“さつき”はやや見頃を過ぎていたが、ヤマボウシの花が見頃だった。ミズキ科ミズキ属の落葉高木で花びらのように白く見えるのは花ではなく“総苞片”をつけてその芯にある花をまもっているとのこと。しかし、ここでは俗称でヤマボウシの花と呼ぶことにする。菖蒲も咲き始めていたがまだまばらだった。

1. ヤマボウシの花 2023-5-24

2. ヤマボウシの花の拡大写真

3.さつきと松などの緑のコントラストが映えていた！

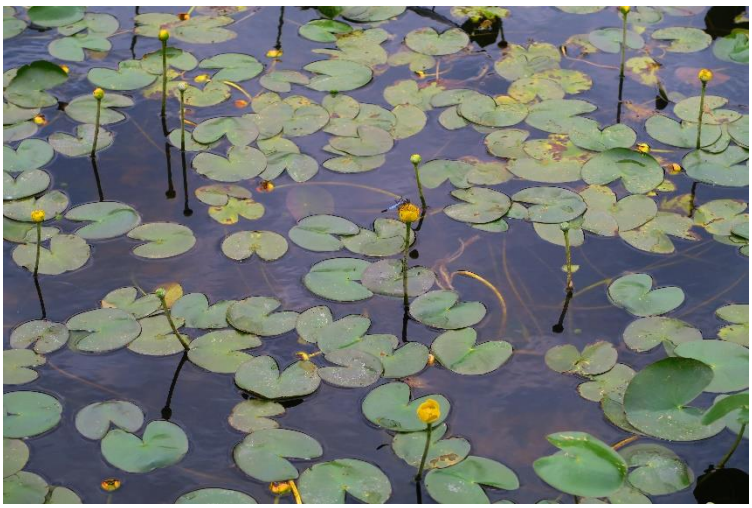
６月１日の“飲み会”の日の午前中に“菖蒲”を見るため再度訪れた。そう広くはないが種類は多く百種類くらいあるらしい。まだ、品種によっては咲いていないものもあったが概ね見ごろであった。この庭園は外国人の人気スポットで訪れる人の約５０％は外国人とのこと。　菖蒲園の近くの池にはヒメコウホネの黄色の花が咲いていた。別の場所には早、桔梗の花が一凛咲いていた。

4.　菖蒲園と周囲

5.菖蒲のいろいろな品種

6.菖蒲のいろいろな品種

7.　別のところの桔梗



8.　ヒメコウホネとその花

9.　ヒメコウホネの花とトンボ